

さぼせんニューズレター

2012年夏号
Vol.34



さぼせん ワイワイまつり ～season1～



映画「僕らのミライへ逆回転」野外上映会

6月2日(土)、3日(日)19:00～21:00

【場所】サポートセンター駐車場

【参加人数】約150名 【共催】輪輪シネマ

【協力】(株)AGC セイメイケミカル、茅ヶ崎市役所

(株)ENEOS フロンティア Dr.Drive セルフ茅ヶ崎店

「スゴイ！本当に映っている！！」

奇跡的に晴天に恵まれた2日間。キレイな星空の下、子どもから大人までたくさんの人で賑わい、手づくりのカラフルな旗が夜風になびく中、野外上映に初挑戦しました。

開催に当たり、センター壁面へのスクリーンのかけ方、周囲の明るさなど、数々の大きな壁に何度もぶつかりましたが、△を○にするために、輪輪シネマとリハーサル・話し合いを重ねた結果、無事に当日を迎えることができました。

今回は「今までにない出会いと空間をつくりたい」という願いから、ホットドッグやレモネード、マッサージなどを扱う市内のお店にも出店いただき、それぞれのスタイルで、ワクワク楽しみながら鑑賞しました。

そして町の人たちみんなで力を合わせてオリジナル映画をつくり鑑賞するラストシーンでは、会場にいる全員の気持ちが1つになり、「私たちがまちをつくっていくんだ」という想いが芽生えた気がしました。茅ヶ崎を元気にしたい人が集い、活動がうまれる「サポセン」でこの映画を上映することができ、とてもうれしかったです。

初めて訪れた方たちとの出会いと、同じ時間・空間を共有できた喜び、そして公共施設での野外上映もアリなんだ！という驚きと感動に包まれたイベントでした。



映画「葦牙-あしかび-」上映会 & 交流会

6月3日(日)14:00～17:00

【場所】サポートセンター

【参加人数】46名 【ゲスト】小池征人監督

「葦牙-あしかび-」は、児童虐待の当事者である子どもたちが登場するドキュメンタリー。この作品を選んだ理由は、「3日に1人子どもが命を落とす事実があることを知ってほしい」、「虐待というデリケートな問題に対して、わたしたちはどのように関わっていくべきなのか考えるきっかけにしたい」という監督の想いに共感したからです。

アンケートには「現場に入って子どもたちの話を取り上げたことに感謝と感動」、「虐待を連鎖させない強い想いに心打たれました。家に戻ったらわが子を抱きしめてあげたい」、「子どもたちのその後が気になる。続編をつくってほしい」などの声が寄せられました。また上映後の交流会では、小池監督から子どもたちの様子など撮影時のエピソードをお話いただいたほか、児童養護施設や教職員として現場に携わった経験がある方のお話を伺うこともできました。今回を機に、葦牙の自主上映会が茅ヶ崎から全国へ広がっていくことを願っています。

* 第1回 茅ヶ崎映画祭

～街と人がつながる手づくりの映画祭～*

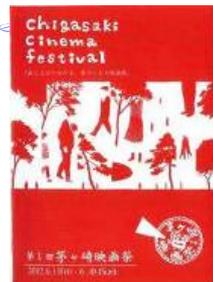
6.1(金)～6.10(日)

市内のカフェ・旅館がミニシアターに!!

個人や団体が11作品を上映。

NPO法人NPOサポートちがさきは

上記の2作品を上映しました。



映画祭パンフレット

第7回 茅ヶ崎維新カフェ



「清掃で伝える感謝と勇気 ～一歩踏み出すその先に～」

【日時】6月23日(土) 13:30～16:00

【場所】茅ヶ崎駅北口ペDESTリアンデッキ
&ハスキーズギャラリー

【参加人数】34名

【協力】(有)ハスキー企画



7回目を迎えた維新カフェのゲストは、加藤壮章さん（NPO 法人 一 心 一 代表理事）。彼は不登校・引きこもり、自衛隊、日本一周の旅、ディズニーランドの勤務など様々な道を歩んできた。現在は悩んでいる人たちに気づき・きっかけを与えたいと、JR茅ヶ崎駅北口の清掃や就労支援の活動をしている。

当日は参加者が思い思いの掃除用具を手に、駅周辺でおそうじ体験。「みんなで清掃すると楽しい」、「一見きれいに見えても木の陰などにゴミがあった」、「一人で始めた加藤さんの一歩がどれほど勇気のあることだったか…」、「きれいにする瞬間、集中して心もすっきりした」という声が寄せられた。

その後ハスキーズギャラリーへ移動して行った交流会では加藤さんより一歩踏み出す勇気とその大切さを伺いました。



「引きこもりの生活は楽に見えるが心の中はぐちゃぐちゃ。一方で心の底ではつながりたいという思いがあり、毎日が葛藤で本当につらかった。でも、高校時代の恩師の『逃げるな』のひとこと、人との出会いから意識が変わった。そしてなにより自分を変えたいと

いう強い思いがあったからこそ一歩踏み出すことができた。みなさんもなにか思い浮かんだら、行動に移してほしい。いろんな縁が広がり、人生を楽しく豊かに彩ってくれる。人生は壮大なる冒険旅行だ。」

最後はグループに分かれて、各々参加したきっかけや現在の活動について、カフェの感想などを語り合いました。

「自分と同じ経験をもった方が、多くの人の前で話をする場があること、話をする勇気、ステキな笑顔が印象的だった。」また、「なにかできることがある。なにかやらなくてはと思う人がこんなにいることを知り、勇気をいただいた」「このつながりをこれからどう生かしていくか考えたい」「当たり前のことを感謝する大切さや、さまざまな経験から得た行為が、いま輝く加藤さんをつくっていると感じた。私も思いを行動化します。」

イベント終了後も、たくさんの方が会場に残りいつまでも語り続けていた今回の維新カフェ。



加藤さんの信念とどんなことにも前向きに取り組む姿勢が伝わり、感謝の気持ちあふれるステキな時間でした。

体験期間 7/23～9/15 ユースボランティア茅ヶ崎 2012

今年も夏のボラ体験しよう!

市内 19 か所の団体・施設がボランティア受入体験先に!

(里山保全・海岸清掃・動物病院・障がいのある方や高齢者の施設・学童や乳幼児と遊ぶ・紙芝居を演じる・国際支援のショップなど)

中学生から大学生くらいまでの人集まれ!
【オリエンテーション】※どちらかの日に参加必須(どうしても無理な方は個別の対応あり)
① 7月20日(金) 18:00～20:00 ちがさき市民活動サポートセンター
② 7月22日(日) 14:00～16:00 さがみ農協ビル5階
【カフェ de ボランティア】8月28日(火) 14:00～16:00 ちがさき市民活動サポートセンター
夏休み恒例となった青少年ボランティア体験、関心のあるボランティアに参加することで、住んでいるまちの課題を知ったり、進路について考えるきっかけを作るチャンス! 詳細はHPを見てね!!

お茶を飲みながら
夏ボラの話そう会を
開催!

【共催】(社福)茅ヶ崎市社協、(特非)NPO サポートちがさき

※ロゴとイメージキャラクターを募集します! 応募期間: 7月20日(金)～8月21日(火)

アイデア提案カフェ

【日時】5月25日(金) 18:00~20:00

【場所】ちがさき市民活動サポートセンター 【参加者】24名

「市と一緒にこんなことがしたい、私ならこうする。でも、企画書を書くのは大変そう」…。そんな思いやアイデアを気軽に出し合う場として、初めて開催されたカフェ。お茶を飲みながら小グループで語りあうなかから協働のヒントも生まれました。6/8まで実施されたアイデア提案コンテストには25件の応募があり、選考結果は7月中旬に市のHPで公開予定です。お楽しみに！

7/27(金)募集〆切

～協働に向けた意見交換会～

NPOや事業者、営利を目的としない法人等が、市職員と共に協働の芽を育て、協働事業実施への可能性を探る話し合いの場、「NPO等と行政の協働に向けた意見交換会」を開催します。「これって協働になるかも!」…というアイデアをお持ちの団体は、7月27日(金)までにサポートセンターに参加申込書をご提出ください。事業提案を検討中の団体は、ご都合のよい回に必ずご参加ください。

	開催日	時間	会場
第1回	8月7日(火)	14:00~16:00	市役所本庁舎7階 会議室A
第2回	8月9日(木)	18:00~20:00	ちがさき市民活動サポートセンター
第3回	8月18日(土)	10:00~12:00	市役所本庁舎7階 会議室A
第4回	8月20日(月)	10:00~12:00	市役所本庁舎7階 第2会議室

平成24年度「協働推進事業応募要領」はセンターで配布しています。

サポセンホームページが ちょこっとリニューアル!



- “twitter”を開始しました♪センターの日常風景が垣間見える? お役立ち情報も多々あり!! フォローしてね!
- 7月からは、HPよりボランティア募集を受け、ボランティア情報として公開します。オンラインフォームを使い団体のみなさんが直接入力・送信できます。イベント時や常日頃からボランティアが欲しい方、ご活用ください。(センター窓口へ直接来館・Tel・Faxでも受付OK)
- イベント参加申込みや、ご意見などもお待ちしております!

ボランティア塾 in 鶴嶺高校

参加団体を募集

(8月頃に別途チラシ・HPでご案内します)

【テーマ】災害 【日時】11月(予定)

災害・復興支援に取り組んでいる市民活動団体が、熱い想いと活動を高校生に伝える授業です。

小さな子、日本語が上手に話せない方、障がいを持っている方たちへの支援のしかたについて、地元での災害を切り口に語れる団体の参加も歓迎します。

会場は各教室と特別教室を使用して、生徒は予め希望したそれぞれの塾(団体)で学びます。

エコレンジャー2012

予告



【日時】10月6日(土) 9:30~14:30

【場所】茅ヶ崎市総合体育館 **エコ博士をめざせ!**

【対象】市内在住の小学生75名とその保護者

自分でソーラークッカーを作ってみよう!!

普段の生活に役立つエコ生活の知恵(段ボールコンポスト・家庭の節電)も学べます。

※9月初旬に別途チラシ・HPでお知らせ予定

- 音楽でつながる縁 - グランドピアノ運送費カンパのお礼&ご報告(募金箱設置期間:4/7~5/13)

若山超さんご一家の思いが詰まったグランドピアノが、NPO法人国境なき楽団を通じ、宮城県石巻市に届けられ「できることをできるだけ」プロジェクトとして稼働を始めます。募金活動では約20万円の寄付がありました。また震災から一年を経た3月11日、復興への祈りを込めて開催された『松林の風チャリティーコンサート』での募金20万円も寄付していただき、総額459,096円が運送費や今後の維持管理費に充てられます。音楽が持つ力が被災地の方々の心の支えとなることを願い、これからも3・11を忘れないよう橋渡し役をしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました!

開設10周年への思い 代表理事 益永律子

サポートセンターが開設された10年前を思い起こせば、「市民活動＝社会に役立つ無償の行為」という暗黙の了解がありました。2005年に市民活動を財政的に支援する「げんき基金」が誕生し、2007年から協働推進事業が始まり、これまで閉ざされていた「公」の扉が少しずつ開かれようとしています。

2011年から茅ヶ崎市総合計画を推進していく基軸の一つに「新しい公共」の形成が打ち出され、NPOはその存在意義を問われることとなります。

今、大切なのは私たち一人ひとりが当事者となって、社会を「変えていくことができる！」と信じること。さらに、活動を持続的に発展させるために必要なのは若者のチカラ。そして次世代の志や能力が発揮され、安心して働くのに欠かせないのはNPOの資金力です。

NPOが地域や社会を少しずつよい方向に前進させていけるように、「NPOへの共感＝寄付」がもっと広まっていくことを願っています。

さぼせん10年のあゆみ 萌芽期 施設提供型支援の時代

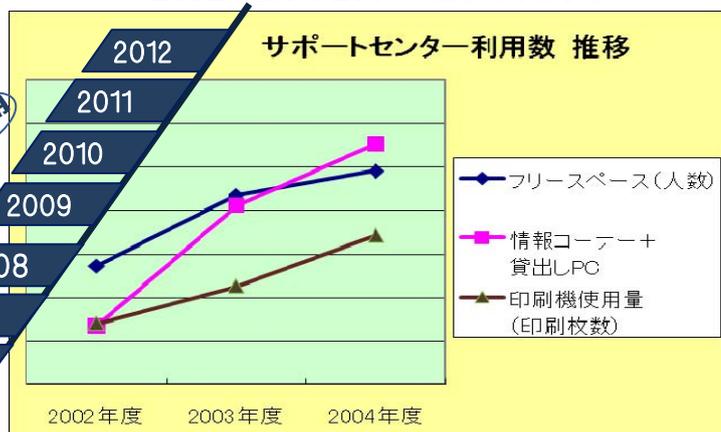
市民活動サポートセンターは2002年4月に開設され、公募市民による「茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会」*が2005年3月までの管理運営を受託しました。

分野を超えた公益活動を行う市民の拠点施設ができた喜びは何物にもかえがたく、5つの機能—ハード面の①場の提供、ソフト面の②情報の収集・発信、③人材の育成、④相談・助言⑤市民・企業・行政・大学等との連携および交流の促進—支援も全力を注ぎました。

また、市民運営の3つの基本的な考え方—①市民感覚による柔軟な対応、②市民の自主性や良識を信頼、③黒子となって自発性を尊重—は10年が経過した現在も継承しています。

(*運営委員会としてスタートしたNPOサポートちがさきは、2003年6月にNPO法人化しました。)

2002年度から2004年度までの萌芽期



「親切・丁寧で気持ちのよい接客」、「便利で使いやすい施設や設備」 motto に施設運営を始めました。1日12時間、346日・土日祝日も開館し、予約なし・常時インターネット接続のパソコンが使用できる唯一の公共施設でした。人気の印刷機は開館500日で早くも印刷枚数120万枚を突破。2003年11月には2台目を設置しました。

- 2004 ⇒ 市民活動フォーラム「今、茅ヶ崎がめざす協働のあり方」市と共催
 - 2003 ⇒ 市長と市民活動団体との懇話会・ユースボランティア開催・多方面から視察
 - 2002 ⇒ オープニングフェスタ開催 広報誌「ちがさきアイドゥー」創刊 市民活動団体データベース作成
- スタート!

さぼせんニューズレター2012年夏号(2012年7月1日発行)通算34号

編集・発行 特定非営利活動法人 NPOサポートちがさき 発行責任者 益永律子

〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7 茅ヶ崎市民活動サポートセンター

TEL/FAX: 0467-88-7546 Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp ホームページ: <http://sapocen.net/>